# 京城新報

●新聞料 ▲一ヶ月前金 ▲三ヶ月前金 ▲六ヶ月前金 ▲郵稅一ヶ月金拾參錢
●廣告料 ▲五號活字十九字詰一行一回金三十錢 ▲四號活字十四字詰一行金四十五錢
●陰暦 四月五日
發行編輯兼印刷人 秋山忠三郎
京城西署西小門通 發行所 京城新報社 電話六六三番

## ●釜山港の金融

△銀券流通狀況 銀行券の流通狀況は極めて良好にして新硬貨と相伴ひ漸次舊貨を驅逐し關西三南地方所と郡部に浸透したり唯た北韓地方は比較的に葉錢の勢力强盛なるも暴徒の襲來に際し避難運搬の便宜上土民も舊來の葉錢を捨てゝ銀行券に換ゆるの觀あり而して小額券たる十錢二十錢及び五十錢券は發行を中止し回收を圖りたるより次第に減少し一圓及び五圓券が次第に比例を增加して十圓券の比例は向下しつゝあり此れ銀行券が漸進的に小民の懷に入りたる結果に外ならざるべし

△舊貨幣の狀況 今年二月二十一日舊白銅貨通用期間を限定して今年十一月三十日までとし明年五月末日迄を限り公納にのみ之を使用し得との韓國政府の令達は直ちに其効果を表現して昨年五六月の頃より年末に至る毎月の回收高は僅々一萬餘圓に過ぎざりしが今年一月以降頓に回收高を增加して毎月五六萬圓に上り本月の如き納稅交換及び買上に於て六萬三千餘圓の代金を計上せり回收開始當初よりの累計に徵すれば元數にて約一千五百萬元代金に於て七百三十七萬圓を支拂ひしが思ふに現時地方より市場に流出する狀況より推算すれば流通殘高は尙ほ鮮少ならざる可く銀行の見込にては三百十二萬圓を下らざるべし

△釜山の預金と貸出 三月末日に於ける釜山支店の預金高は公金五千百五十一圓にして定期預金は二十七萬八千八百八十一圓當座預金は十三萬一千二百三十圓特別當座預金は二十二萬四千四百七十九圓諸預金は六萬六千四百九十三圓合計七十萬六千二百三十七圓にて二月末の殘高は七十萬五百九十八圓なり貸出高は定期六十六萬七千四百四十一圓にて當座貸越は十九萬三千八百十八圓割引手形は四十萬二千五百十九圓荷爲替手形は二萬六千九百六十圓合計百二十九萬七百三十八圓に至り二月末の殘高は百三十三萬一千八百五十三圓に達せり

△釜山支店爲替受拂 三月末當地の爲替受拂高は受入總額十八萬四千三百十九圓にて前月に比し約十萬圓の減少を示せり拂出の總額は二十四萬九十四圓にて前月に比し十六萬圓の增加を見たり

△釜山一般商況 米は依然弱含みにして大豆も亦た益々下向きの模樣を持續し輸出頗る不振なり輸入貨物も先月に比し雜貨類は多少賣行あるも金巾綿布は需足無紡績は低落に低落をかさね一般の氣配面白からず從つて入津少なし物價は輸入品に於て一分二厘方下落し輸出品に於て七分一厘の下落なり大体に市況不振を極め猶ほ此形勢を持續すべき模樣なり(第一銀行調査)

## ●森林法施行細則(續)

第三十三條 第一條第十二條第十三條第十四條及び第三十三條の規定は年期賣却にも此を適用す

第三十四條 第十條、第十二條、第十三條、第十四條及第二十三條の規定は年期賣却にも亦之を適用す

第三十五條 主產物搬出期間は主產物の引渡ありたる月より起算し三ヶ年以內に於て農商工部大臣之を定め引渡の際之を引受人に通知すべし

前項の期間內に搬出を爲すこと能はざるときは引受人は農商工部大臣の指揮に從ひ其の斫伐箇所全區域內に於ける造林上の障碍物を掃除することを條件とし一箇年以內の延期を出願することを得

前項延期の出願は搬出期間滿了一箇年前に之を爲すべし

第三十六條 買受人物件の搬出又は造林障碍物の掃除を終りたるときは遲滯なく其の旨を農商工部大臣に屆出づべし

第三十七條 左の場合に於ては買受人は搬出未濟の物件を拋棄したるものと看做す

一、延期の出願を爲さず又は延期の許可を得ずして搬出期間滿了したるとき

二、延期々間滿了したるとき

第三十八條 農商工部大臣に於て買受人の拋棄したる物件が造林上著しき障碍となるの虞ありと認むるときは買受人をして農商工部大臣の指定に從ひ自已の費用を以て其の障碍を除却せしむべし但し搬出期間(延期々間あるときは其の延期々間)滿了後一箇年以內に農商工部大臣が除却の要求を爲さざるときは買受人は其の義務を免るゝものとす

第三十九條 農商工部大臣は營林上必要ありと認むるときは買受人に對し伐木運搬其の他の事項に付其の方法を指定し又は制限を爲すことを得

第四十條 法令の結果に因り又は公用若は公益に關する原因に因り主產物の斫伐を制限停止若は廢止し又は其の時期を變更するの必要を生じたる爲農商工部大臣が變更し又は解除するも買受人は異議を述ぶることを得ず

前項に依る變更又は解除の爲代金納付濟に係る買受物件にして斫伐又は搬出を爲すことを得ざるものを生じたるときは相當代金を還付して其の物件は國の所有とす

第四十一條 年期賣買契約に因りて生じたる權利又は搬出未畢の物件は農商工部大臣の認可を受くるにあらざれば是を他人に讓渡し又は擔保に供することを得ず

第四十二條 左の場合には農商工部大臣は年期賣買契約を解除し尙搬出未畢の物件及契約保證金は國の所得とす

一、渡與したる生產物に對して納入期間內に代金を納めざる時

二、前條の規定に違背したる時

三、第三十五條又は第三十八條の場合に造林障害物掃除又は除却の要求を受くるとも買受人が其義務を履行せざる時

四、買受人の責に歸する事由 因りて農商工部大臣が契約の目的を達し難しと認むる時

前項搬出未畢の物件に就ては農商工部大臣は相當の代金を還給す

第四十三條 國有森林山野內にある設備に就ては買受人は其使用を終りたる後又は契約が解除されたる場合には農商工部大臣が指定する期間內に土地を原形に回復して設備を收去する義務を有す但し特別なる契約ある者は農商工部大臣の認可を受けたる者は此限にあらず

買受人が前項期間內に收去し終らざる時は其設備は總て國の所有とす

買受人が前項の義務を怠慢するに由り營林上障害を生ずる憂慮ありと認むる時は農商工部大臣は原形回復に達する費用を算定して其二倍の金額を徵收す(未完)

## ●間島問題と齋藤大佐

統監府間島派出所長齋藤大佐は目下北京にありて林公使と協議を遂げつゝあるが右は間島問題に關し一兩月前淸國政府より間島一帶は淸國の領土なりとて我派出所員の撤退を求め來りたるに對し我政府より林公使をして改めて回答を致さしむるに就ては間島の事情に精通せる齋藤大佐をして能く間島在住韓民の實情を說明し併せて萬端の打合せを爲さしむるを便とし恰も歸任の途に就きたる齋藤大佐を京城より北京に差遣せる次第なりと云ふ尙は屢々記載せる如く舊慣並に韓民の實情に鑑み之を保護せんとするに過ぎざる次第なれば派出所官制の制定に就ては其後別に何等の抗議等に接し居らずと云ふ

## ●鴨綠江架橋用船舶

鴨綠江水底作業船

鴨綠江の架橋工事が內地に於て着々設計されつゝあるよしは既報の如くなるが曩に山田擔任技師は遼河の架橋工事を視察して大に得るところあり先づ架橋に使用する新式船舶の設計を爲し既に某造船所に命じて建造を爲さしめ居れりといふ該船は專ら水底の作用に便ならしむべき潛水船にして船中には電燈を點ずるの設けあり右の船中に在れば壓迫空氣の作用にて恰も陸上に在ると異ならず水底に於て自由なる作業を爲し得べく爲めに架橋工事中の最難と稱せらるゝ橋基据附けの進捗意外に速かなるべく世人が吃驚を禁せざる底の急速力を以て工事を成功せしむべしと云ふ又過般來風說されつゝありし英米の抗議は其の要領我艦の通過を防害するといふに在りしを以て橋梁の中央に開閉の裝置を施すこと前紙所報の如くなる以上は勿論右の抗議は取消されざるべからず今や鴨綠江架橋は何等の障害なく計畫を進行せられつゝありと云ふ

## ●道川學校の落成式

慶尙北道開慶郡淸成連城氏の設立に係る私立道川學校の落成式は去る二十一日午前十一時擧行せられたり當日は雨天なりしにも拘はらず來賓として將校准士官、京內閣主事警察官郡守、郡主事、各面及び里長等參集當地稀有の盛況なりき當校は大土村の中央に在りて校舍は三間と五間にして生徒百名を收容するも尙ほ餘裕あり校庭には幅六間長七間ありて種々の樹木を植へありて一見公園に似たり本校の經歷は白下氏の祝詞を讀んで知るべしと同地より通信ありたり

祝辭

夫れ國の隆替は人材の有無に關し人材の有無は學校の盛衰に因る不世出の英雄豪傑賢明なる君共に校に學ぶ即ち今や東隅桑楡に至る迄で學校を設置し邑に不學の徒なく村に無識の輩なからしめんとする所以なり然るに此國の如きは時世に伴はざる學校其數幾百千を算するに其効なく却て日に月に逡巡敢て其隆盛を見ざるなり今尙ほ世界未開地の一位を占む所以も亦茲に存す嗚呼東洋三國兄弟も啻ならざるの友邦脣歯の交りを爲すに於て豈隔靴搔痒の感なからんや隣國に此悲境あるは實に長大息の至りなり幸なる哉茲に淸成氏は素志を文明開發の急に鑑み此國の舊阿蒙の徒をして夙夜進運光明の指導を至ふせんが爲め明治卅九年奮然として此地に入り正義五常を以て未開の蕪を加ふるに世の盛衰興廢を說き大に智識を開發し勸善懲惡の法を取られたるや彼等の敬服信頼する渣なきにあらず茲に本校を創設し既に二星霜を經と謂ふ豈壯快ならずや生徒も亦従て倍従し將に隆盛の城に至らんとするの時昨年不幸にも頑冥國を忘るゝの暴徒の災害に罹り本校は其跡を存するも事業を一時廢するの已むを得ざるに至れり師も亦避難するに至るや生徒は慈母の赤兒に於ける手を離れ悲哀極りなく師を慕ふの念切なり然るに師は素志益々堅く其廢滅を悦ぶものにあらず彌よ本校の成功を遂せざれば止まざるの覺悟を以て遂に政府の保護を受くることなく今日壯大完備なる本校の落成を期したるは氏の陶冶に非らずんば安ぞ能く茲に至るを得んや古語に謂ふ創業は難く完成は易しと蓋し氏は兩者共に之を完ふするものなり猶ほ後來の今日に於ける今日の前年に於ける如く月に年に駸々乎として停止せざること信じて疑はざる處なり生徒よ登校を怠らず年と共に德業を新にし効績の年に倍せんことを誓ふべし鄙辭陳して祝詞に代ゆ

明治四十一年四月二十一日

成昌守備隊附陸軍歩兵曹長勳七等功七級 白下芳熊

## ●群山半ヶ年の廻着米

明治四十年十月一日より同四十一年三月廿八日に至る半ヶ年間に於ける同港廻着米穀總數は二十三萬七千九百十四叺にして是れを米其他に別てば左の如し

| | |
|---|---|
| 白米 | 四二、九三三 |
| 玄米 | 一五三、一九三 |
| 糯米 | 五、二五四 |
| 大豆 | 三〇、三七七 |
| 小豆 | 一二八 |
| 大麥 | 六〇 |
| 小麥 | 三九 |
| 蕎麥 | 一四三 |
| 荏子 | 五、六八七 |

にて右の外粟六萬叺以上の廻着ありし由なれば之を通算する時は約三十萬叺に達したるなるべく尙は地方農事經營者及韓人有力者の相場の引合はざるため手放さゞるもの多ければ相場の引立つに於ては尙ほ十數萬の廻着を見るべしとなり

## ●京城各銀行營業週報 (四月十五日現在)

預金の部

| 銀行 | 定期(圓) | 當座(圓) | 特別當座(圓) | 諸預金(圓) | 合計(圓) |
|---|---|---|---|---|---|
| 第一銀行 | 一、四四〇、一七四 | 九六四、二八九 | 六八三、九七〇 | 三、二五〇、五〇〇 | 六、三三八、九三三 |
| 五十八銀行 | 一六四、一五六 | 一四四、八六四 | 三二、一八二 | 三、七七七 | 四〇三、九一九 |
| 十八銀行 | 三三四、七七一 | 二六三、八八一 | 五、一四九 | 三一、五二九 | 六三五、三三〇 |
| 農工銀行 | 二四、八一四 | 三三、七七七 | 一七、六三九 | 五、三〇五 | 八一、四五四 |
| 漢城銀行 | 九三、一二八 | 七二、四七三 | 七六、九六六 | 一九、二八五 | 二六三、八六一 |
| 韓一銀行 | 八二、四四八 | 一三六、一一八 | 三〇、九三六 | 三、五三八 | 二五三、〇四〇 |
| 天一銀行 | 六六、三六〇 | 二四、四九八 | 一〇、九二二 | 五、九二二 | 一〇六、六〇二 |

貸出及び割引の部

| 銀行 | 貸付金(圓) | 當座貸越(圓) | 割引手形(圓) | 合計(圓) |
|---|---|---|---|---|
| 第一銀行 | 三四四、五六〇 | 三一九、二七二 | 七六九、〇一七 | 一、四三二、八四九 |
| 五十八銀行 | 四四一、五〇七 | 一六六、〇五五 | 六四七、五七六 | 一、二五五、一三八 |
| 十八銀行 | 一〇三、六六七 | 九四、八八四 | 二四五、四四五 | 四四三、九九六 |
| 農工銀行 | 九四、六七五 | — | 一〇五、〇三〇 | 一九九、七〇五 |
| 漢城銀行 | 七〇、八二四 | 二七、一五一 | 二七一、一五〇 | 三六九、一二五 |
| 韓一銀行 | 一三五、〇〇八 | 九六、六〇七 | 一三九、七四七 | 三七一、三六二 |
| 天一銀行 | 二八、六七〇 | 六、一八七 | 二二五、六六四 | 二六〇、五二一 |

## ●日本通貨韓國在留見込 (四月二十五日現在)

第一銀行韓國總支店調査

| 種別 | 金貨(圓) | 紙幣(圓) | 補助貨(圓) | 合計 |
|---|---|---|---|---|
| 銀行券準備 | 一一、〇〇〇 | 二、四六五、〇〇〇 | — | 二、四七六、〇〇〇 |
| 市場流通 | 八、八〇〇 | 六一三、六〇〇 | 三二六、〇〇〇 | 九四八、四〇〇 |
| 合計 | 一九、八〇〇 | 三、〇七八、六〇〇 | 三二六、〇〇〇 | 三、四二四、四〇〇 |

### 讀者文壇 投書歡迎

閑窓 夏子

百花の色香は、やゝあせて、木々の若みどり、ひとりほこり顔に、夏を迎へつゝあり。青葉かくれの小簾より、もるる想夫戀のしらべは、仲國もなく、月もあらねども、小督の昔さへ、しぬばれてゆかしかりけれ、きかまほしきは、琴のねし、みまほしきは閑窓の主人、

とふ人もまれなるやとの庭の面に
老鶯のしのびてぞなく

## 小說 新不如歸 (十)

篠原嶺葉著

赤阪氷川町の唯ある閑寂の土地に、冠木門のある立派な邸がある。主人は陸軍歩兵少佐で尾花敏男と云ふ、まだ二十八の靑年佐官である。陸軍大學を一昨年の春卒業して昨年の夏大尉から少佐に昇進したが、軍人としては余りに頭腦が緻密過ぎるほど銳敏で、非常な才力に富むで居る所から、拔擢されて今は陸軍參謀本部の參謀となつて、益々敏腕家の高評を博しつゝあるのである。父は有名な理學博士で帝國大學を始め、二三の私立大學に敎鞭を取つて、非常な名望家であつたが、今より三年以前胃癌を病むで遂に幽境の人となつた、母は奈加子と云つて茲年四十三であるが、これは今より十年以前、即ち敏男が十九の年に亡父が後妻として迎へたので、敏男がためには繼母である。實母は敏男が十三の年に流行病に罹つて沒したので、今は繼母と下婢と、馬丁を合せて四人の小体暮である。

敏男は今しも外から歸つて來た樣子で、大名縞の袷に琉球絣の羽織を被り、白縮緬の扱帶をキリゝと結び、鳥打帽を冠つたまゝ座敷に通ると、母の奈加子は

「どうだつたね、もう寒くなつたから緣日も寂しいことだらうね」

「イヱ寒い割合にはなかゝく人が出ましたよ。」

「然うかね……しかし今晩は近頃珍らしい暖い晩だから、それで猶且人も出たんだらう。」

「それに月の宜いことつてつたら何とも言へない位ですからね、實に散步してゝも冬のやうな氣地はしないんですもの、眞個春の宵かと思ふやうな氣が爲ます。」

「然うかね、道理で猿渡さんも大層宜い月夜だつて賞て居たッけ。」

敏男は火鉢の傍に坐り、帽子を脫りながら

「猿渡さんが來たんですか」

「あゝ、猿渡さんが來て、お前の歸る少し以前に歸つて往かれたのよ。」

「然うですか、何か用向でもあつて來たんですか。」

「いゝゑ別に用事があつて來なすつた譯ぢやない、麴町の方に行つて歸りがけだとか云つてお寄んなすつたのよ。」

「あゝ然うでしたか……久し振にブラゝゝブラついたので足が突介棒のやうになッつた。」

云ひつゝ立つて巳が室に行かんとするを、奈加子は呼び留めて

「まあ些とお待ち、少し相談爲たいことがあるのよ。」

云はれて敏男は、

「あゝ然うですか。」

と、また其處に坐して母の顏を瞻めるのである。

奈加子も一膝火鉢の方に進み寄り、そしてやゝ聲を密めて、

「外の相談ぢやないがね、何時やらの緣談だが、實は外と違つて亡父樣が在でなさる頃から、お心易くしてる間柄でもあるし私へ直接けて持掛けられたので、私も誠に迷惑してるんだが、お前が可厭でさへなければどうぞ貰つてやつて下さいな、然ういふとなんだけれど、出來星紳士でこそあれ廣い東京で猿渡勘兵衛と云へば、誰知らぬものもない財產家で、島子さんだつて美しくはある、年頃も好加減だし、敎育だつて東京女學校を卒業してるのだから、女としては充分だし私は決して不足のある緣談ぢやないと思ふ……が今晩猿渡さんが來たのも、其と言出しこそ爲ないけれど大方其の返辭が聞きたくツて來たに相違ないと思はれるどうだね少々の不足は何處から貰うにしてからも必然あるもんだから、辛抱のできない程可厭でさへなければ、貰つてやる事にしては……。」

云つて、敏男の返辭奈何にと其顏色を伺ふのであつた。

# 各道書記官に望む

京城新報

各道書記官諸君、余輩は諸君が中央に會同せられ、所管の行政事務を議せらるゝに際し卑見を述て注意を請はむとす、

諸君の議事を開くや既に六回に及ぶ、然るに暴徒鎮定に就て議諮の論議を聞かず、之れ余輩の怪とする所なり、此先決問題を後にしては何事もなすべからざるは、何人と雖も知る處なり、昨夏政變以來暴徒蜂起して、地方は恰も亂麻の如く、行政の改善も司法權の獨立も、到底圓滿に行はれざるは諸君が任地に於て親しく見る所の如し、然らば施政陳立等の末よりも、先づ暴徒を鎮壓して順民を安んせしむるは目下の急務なり、之れ余輩が述る迄もなく、諸君の實驗は必ずや痛切に之を感せらるゝならむ、余輩は諸君が會同せらるゝや、異句同音に之を絶叫して、中央政府に反省を與ふるならむと期したりき、韓政府及統監府が此先決問題に關して鬼角に斷を欠ぐ憾みあり、之れ地方の實況に精ならざる爲なるべし、故に諸君が其實見を語らば大に猛省する所あるべしとは余輩の竊に期待したる所なりき、何ぞ圖らむ諸君は此先決の大問題に關して痛切なる鎮定策を語りしを聞かず、余輩の精探したる所に依れば暴徒に就て鎮定せざれば何等の着手も爲し能はざる狀態の地多し、諸君の實見は果して如何、觀察使の膝下、我軍隊の駐屯する所にのみ居りて、其他に眼を放たざれば其實況は知り難し、諸君果して余輩と其感を同うせば、痛論切議して中央政府をして斷乎たる所置をなさしむべし、拱手して中央政府の爲す儘に放任するが如きは諸君の任にあらず、諸君見ずや、暴徒の鎮定せざる爲に帝國民は地方に發展すること能はず、地方開拓の急務を眼前に控へつゝ空しく際限なき暴徒の鎮定を俟てり、諸君は韓國の官吏なり、帝國民の發展するとせざるとに直接の責なしと雖も帝國民の發展は取りも直さず、韓國の開發にして其發展なり、諸君にして誠意に韓國の開發を望み、祖國を愛するならば、願はくば其實況の悲慘を說き中央政府をして斷然たる所置をなさしめよ、之れ余輩が特に諸君に望む所なり、地方行政改善の方法に就ては更に卑見を陳て諸君の參考に供する所あらむ、今は唯急要なる先決問題に就て注意を促すのみ、

## ●漢城便り

▲一時危かりし現內閣も妓暫くは統監の寵を失はざるべしとの事に御座候朴內閣に對して極めて思切り良かりし統監が李內閣に對し斯まで思切り惡しきは一寸不思議に被成候併し之も樂屋を知る者に採つては何にも不思議は無之候

▲直截に申せば李完用と宋秉畯とは伊藤公を押ゆる一種の武器を有し居候公と二人者どの關係は恰も遊郞と惡酔婦との關係の如きものに有之候いざ絶緣といふ場合には武器は現はれ申候而して遊郞は心ならずも恐圖々として相成申候

▲我統監を大馬鹿野郞と罵しり邦人警官を呼ぶに偏見を以てしたりし宋秉畯は歸來未だ何事をも仕出來し不申候賞錢の爲めに農商工部協辦を先んせられ涙を流して某に訴へたる事を回想せば彼の爲に謹愼は最必要に有之候

▲居留民經濟の發展は今や第一期を了らんと致居候變革の時代に於て多少の波瀾は免がれざることゝ存候疲れたる旅人は後の宿に辿りて道連れの邪魔とならざるの覺悟を要すこの證は今の時に於て玩味の必要有之候と存候

▲何の理由に依らず居留同胞中より破產者などの出づるは甚だ好ましき事には無之候得共さりとて今日の如く居留地經濟界が永く暗雲を以て包まれ居候事は一層好ましからざる次第に御座候前申し候通り今は變革の時代に御座候一洗の時代に御座候見込ある者を扶持して第二の發展期に入り度ものに御座候

雜報

## ●祝電と謝電

韓皇室に於ては常宮內親王殿下御婚儀に付左の如き祝電を發せられたるに二日其謝電ありたり

祝電

朕切祝常宮內親王殿下與竹田宮恒久殿下婚儀並懇祈貴皇室隆昌

謝電

朕の親愛する皇女昌子の結婚に際し陛下は懇篤なる祝詞を寄せられ感銘に堪へず茲に朕は誠實なる謝意を表す

## ●太廟夏享大祭

韓皇帝には昨日正午敦化門出御太廟に行幸あらせられ齋室に入御夏享大祭を親行あらせられ午後十二時北廓門より還御あらせられたり

## ●帝室債務規定

帝室債務に關する件左の如く裁可せられ法律を以て發布せられたり

第一條　帝室債務に關しては開國五百四年法律第二號會計法第二十九條の規定を準用す

第二條　前條の規定は本法施行前に生じたる帝室債務に關しても亦此を適用す

第三條　本法施行前に生じたる帝室債務に對しては隆熙二年九月三十日內に債權者は宮內府大臣に請求す可し其請求すべき原定の期限到來せざる者は其事由を申告す可し

前項の期限內に請求又は申告無き時は債權は其効力を失ふ

附則　本法は頒布の日より施行す

## ●道書記官會議（第六日）

二日は午前十一時より開會木內次官議長席に就き地方稅に關し會議所度支部より鈴木主稅局長出席して嚢に公布せられて實施中止となり居れる地方稅規則を說明し各書記官の意見を徵したるが地方稅賦課の時期は別問題として此の規則は韓國の實狀に適せず其の儘實施するは徒らに徵稅費要するのみにして其の効果を集め得難かる可く故に適當の時期を以て此の稅を賦課するとせば更に稅目稅率徵稅方法等に關し韓國從來の慣習を調査し新たに地方稅規則を勘定公布せざる可らずと云ふに一致し午後三時散會せり

## ●兩次官の訓示

別項地方書記官會議に同四日は午前中俵學部次官午後荒井度支部次官各主管事務に關し訓示演說をなす其の內容は次號に報導すべし

## ●書記官會議延期

道書記官會議は約一週間にて終了する豫定なりしが尙內部地方局主管事務に關し會議すべき事項あり且つ統監府よりの諮問事項ありを以て兩三日延期すといふ

## ●羅災者救恤

內部は羅災者救恤規則に基き本年一月より四月廿日迄の京畿、慶尙、全北三道の燒失家屋百三十三戶燒死者二十八名に對し一戶三十錢一人七十五錢の割合にて救恤揆算中より金六十圓九十錢を支出する事とし近々發送する筈なり而して此の羅災者は暴徒の被害に非ずして普通の羅災なり暴徒の被害に係る者は目下調查中にして此は嚢に發せられたる詔勅に基き內帑金中より御下賜相成筈なり

## ●韓國に於ける郵便貯金

恒產なき者は恒心なし然らば恒の產は人間の本素より各自に貯ふべきものにして其の日に月に贏ち得る所の收入は額の多少に拘はらず銳意節約して蓄積せざるべからざるは敢て言ふ迄もなき所なり今や韓國の文明は日に進み月に開け邦人の渡來するもの又益々繁からんとす此の時に當り長久の計を抱いて異域に六家を營むものは殊に意を注ぎて節約貯蓄の心掛けなからざるべからず而して近來韓國に於ける邦人の貯蓄者數及び貯蓄金高の歲を追ふに從つて益々多きをうるに至れるは最も喜ぶべき現象なりとす今試みに其の筋に於て取り調べたる韓國郵便貯金預け入金額別を揭載すれば

郵便貯金預け入金額別

| 金額別 | 人員 | 金額（圓） |
|---|---|---|
| 五十錢未滿 | 六、〇九八 | 一、五九七 |
| 五十錢以上一圓同 | 六、九九一 | 四、七七五 |
| 一圓以上二圓同 | 五、四〇三 | 七、二三七 |
| 二圓以上三圓同 | 二、九〇〇 | 七、〇八九 |
| 三圓以上四圓同 | 一、七二〇 | 七、〇〇九 |
| 四圓以上五圓同 | 三、三六八 | 九、九二七 |
| 五圓以上十圓同 | 五、九〇〇 | 四三、三二一 |
| 十圓以上二十圓同 | 六、三八二 | 九二、〇七九 |
| 二十圓以上三十圓同 | 二、八二九 | 六八、九四八 |
| 三十圓以上五十圓同 | 五、三九九 | 一八一、二三九 |
| 五十圓以上百圓同 | 一、五四五 | 一〇四、四二八 |
| 百圓以上二百圓同 | 八二一 | 一一一、六九八 |
| 二百圓以上三百圓同 | 二五〇 | 五九、五五三 |
| 三百圓以上四百圓同 | 一二三 | 三八、四五六 |
| 四百圓以上五百圓同 | 六六 | 二九、八五五 |
| 五百圓以上千圓同 | 八九 | 六〇、五八九 |
| 千圓以上五千圓同 | 九 | 九、二七四 |
| 總計 | 四八、八二四 | 八三五、七五八 |

## ●薬錢驅逐に就て

某實業家談

韓國の南半部には薬錢の流通するもの多額にしてために貿易產業の發達を障害せる事は人の知る處にして當局者は其驅逐に努めつゝあるも現今の交換率は二十割にして市價は廿三割乃至廿五割の間にあり故に人民は交換を求むる者なく稅金納付の場合の如き銀行劵又は新貨を以て納付するを以て銅相場の高價なる場合日本商人が輸出する事あるも其の流通は依然として現今の狀態にては永久に其の跡を絶つを得ず此れ交換率の安きがためなれば反對に交換率を高め市價に五分乃至一割の高價を以て交換し或は稅金として納付せしむる事とせば交換を求め又は稅金として納付する者多きに至り一時は薬錢の市價高騰を促すべきも漸次銀劵又は新貨の流布するに及びては人民は薬錢の不便を覺り銀劵新貨を好愛するに至り從て其の市價低下し國庫は安き交換率を以て薬錢を盡く引揚ぐるを得先きに高價を以て交換したるの損失は償ひて餘りあるを得べし兎に角現今の方法にては永久に薬錢を驅逐するを得ず金融の圓滿を缺ぐを以て假令國庫は多少の損失を招くも速かに此れが驅逐の方法を講ぜられん事を望む云々

## ●舊白銅貨引上高

前週に於ける舊白銅貨引上高は總計三萬六千九百七十八圓三十二錢五厘にして引上開始以降の累計金四百四十六萬八千二百七十二圓四十二錢に達したりと

## ●手形組合近況

漢城手形組合にては一昨年一月業務開始當時は組合員四十名に過ぎざりしが昨今は二百二十餘名に達したりと尙同所にて最初より一昨日に至る保證金二百六十九萬三千四百九十二圓に上り回收高は二百二十六萬二千八百九十三圓にして現在保證高四十三萬六百圓なりと而して右の內不渡となりたる約手は僅かに一通金高四千五百圓にして其他は概ね期限內に支拂を了したる者のみなり

## ●商品陳列館の近況

鐘路京城商品陳列館は昨年四月開館當時は入場者の數非常に多く其後五六の兩月に至り漸次盛況を呈し居りたるが暴動の影響を受けたる以來景況一頓挫を來たし今日に至りては一般金融界不振の爲めか日々入場者も昨年今季に比較して其の四分の一にも達せざる有樣にて賣上金の如きも毎日平均卅五圓內外に出でず去れば同館主任野田氏は先頃日本內地に赴きて一方商人に向つて新たに陳列を勸誘すると共に一方韓當局者に何等かの方法を講ぜられんことを請願する由なるが左も無くば飽き易き韓國人を誘引して充分陳列館の性質を有効ならしむることは覺束なしと目下方法に就て考慮し居れりと云へば同館も遠からず面目を一新するに至るべし

## ●咸北吉州郡情況

戶數及人口　郡內韓人戶口は一万一千七百二戶人口五萬七千七百二十八人なり而して日本人の居住するものは吉城府內九百十六人に過ぎず其の職業は藥局一、雜貨商三、醫師一なり尙此の他官吏軍人等居住せり△商取引　毎月陰曆一六の日を以て開市日となし吉州城內の商店附近及各里の人民相集まりて諸般の取引なすこと他の地方と異ならず而ふして此の開市日に於ける一日の取引高は城內の各商店及び來集したる商人の分を加ゐて平均千圓以上に上れり昨年末は九千圓以上に達したりと△主なる取引品　綿巾、木綿、宕巾、綢巾、金巾、綿布等其の主要なるものにして綿、薪炭、米、粟等に之に亞ぐものなり△吉州の商況　一般商品の賣行き好況にして城內各商店一ヶ月の賣上高は毎月一戶に就き多きは千圓以上に達し少なきも百圓を下らず是れ刻下の景況なるが昨年中に比較すれば稍不況の方なり然れども今後一般金融界の立直ると共に益々好況に赴くべし△主產物　當地方の主產物としては唯一の宕巾を數ゆるのみ昨年度に於ける宕巾の產出高は約二十萬圓に上り多くば間島又は南韓地方に輸出す△其他の事情　住民多くは半農半商なり而かも掛引極めて巧妙にして北韓の一阪僻としては此の點に就き頭腦頗る發達せりとも申すべく純農民にありては不熱心にして農作物の收穫は唯自然の豐凶に任する有樣且つ土地肥沃と稱す可らざるを以て自家食料を往々他地方に仰ぐ箇所あり△官衙學校　官衙としては郡衙郵遞所財務署あるのみ學校は泰成學校外四校の私立學校ありて是等の生徒總數百三十名あり△物價　試に現今の物價を擧ぐれば白米（一升）十六錢大麥五錢粟十二錢大豆七錢五厘小豆九錢鷄卵一錢二厘白砂糖十六錢五厘木炭四貫目に付七十錢なり

## ●暴徒二百を討つ

江景郡三館面に於て討伐隊は四月廿七日午後五時平南鎭に於て約五十名の暴徒を攻擊潰走せしめ追擊して約一里の地點に進出せるに暴徒は約二百名に增加し高地に據り射擊を開始したるを以て直ちに應戰し午後八時に至りて中止し翌廿八日拂曉再び攻擊を加へて潰走せしめたり此の戰闘に於て暴徒の死者九名傷者不明

## ●巡査二名重傷す

順天警察分署勤務巡査十名は五月一日午後二時三十分頃寶城郡大源寺に於て暴徒約六十名と衝突し暴徒は頑強に抵抗せしも之れを擊退せり此の戰闘により巡査二名重傷を負ふ

## ●邦人二名被殺

四月廿九日暴徒約十名厚昌郡汶山面木材廠に襲來し日本人役人夫二名殺害せられたりとの報あり厚昌駐在の憲兵巡查急行す

## ●伊藤公慰勞會中止

一昨日執行の筈なりし伊藤統監慰勞園遊會は山階宮殿下薨去につき無期延期せられたり

## ●和城臺の招魂祭

明六日午前十一時より和城臺甲午紀念碑前に於て例年の通り神式及び各宗連合の佛式にて招魂祭を執行せらる當日は駐劄軍各將校以下兵士其他の參拜者ある筈なり

## ●仁川紀念祭と光濟號

光濟號は目下建築材料を搭載して鴨綠江に航行中なるが來る十日開催さるべき稅關の大園遊會に臨まんが爲め同日迄歸航の豫定なりと云

## ●仁川の實業團体組織

商業興振の爲め實業團体を組織すべく仁川商業會議所に於て計畫中なりし事は屢々報導せる處なるが賣藥商組合は既に過日組織され今又同地酒商（宅合名會社のみを除き）より成る酒販賣店組合は一昨夜組織されたり

## ●地稅引下と地主

仁川市內地主は團結の上地稅引下方を民團に交渉したるが尙一昨日美濃谷別莊に於て地主總會を開き今後の方針につき協議する所ありたり

## ●神戶米商の穀物買占

今春仁川に於て時々大口の取引をなし市況に勢からざる影響を及ぼせし神戶鍛治米商店は其後群山地方に向ひ同地にて出荷する穀類の買占を爲し時價に大影響を與へつゝありしが近々仁川にて爾來大に買込む筈にて既に同商店員泉谷氏は來仁せり

## ●副統監の出發期

曾根副統監は來る七日頃出發歸朝するべしと聞く

## ●中島參謀の歸任

軍司令部附參謀中島大尉は豫て參謀演習參加の爲め歸朝中なりしが三日夜歸任せり

## ●高度支部大臣の經過

度支部大臣高永喜氏が先頃昌德宮に於て何かの爲め負傷したることは先日の本紙に記載したる如くなるが同大臣は其の後經過捗々しからず未だに引籠り加療中なりと

## ●復官爵裁可

在議政西興府院君韓孝純以下七十七人は謀叛罪に依り官爵褫奪され居りしが今回李總理大臣の上奏に依り官爵を復せられたり

## ●木內次官邸の慰勞會

木內次官は一昨三日夜各道書記官及び松井局長中原技師を官邸に招待し慰勞會を催せり

## ●大同會員の變更

大同會內にある商務局の旬管局長尹進等は過日警視廳に拘禁せられ爾來暫らく缺員となり居りしに這回左の如く就任せり

局長高橋久司、旬管局長欠員副司務室金光植同梁鳳煥

## ●信夫令孃の死去

仁川信夫理事官令孃操子は病氣の爲め仁川病院に入院治療中なりしが藥石効なく再昨夜終に永眠され昨日午後四時出棺本願寺に於て壯嚴なる葬儀を擧行されたり

## ●發火演習執行

步兵第五十一聯隊第二中隊は昨四日午後一時三十分より三時間半ばかり南山の東南に於て空砲發火演習を執行せり

## ●京城局運動會

京城郵便局所員一同は一昨日獎忠壇に於て運動會を催したるが午後に至り天候も快晴となりたるを以て極めて盛況なりしと

## ●明治大學校友會例會

明六日午後六時三十分より明治町二丁目小宮宮內次官々邸に於て明治大學校友會京仁支部月次例會を開會すると云ふ

## ●近事片々

▲山階　宮菊麿王殿下御俐發前途御有望の御身薨去の報に接し痛哭哀悼の至に堪へず

▲殿下　頭腦明晰にあらせられ歐州御留學中外人歎讃稱措ざりし痛惜の情特に深し

▲韓皇　昨日大廟夏享大祭を親行せらる上午十二時より下午十二時迄參籠せられたり

▲韓帝　宋秉畯を評して歸來昇位せり外出の際警護巡査の數多き統監に次ぐと皮肉る

▲亦曰　渠の謀議成て一進會內閣組織して總理となる前兆かと揶揄嘲的の評盛なりと

▲以是　漢城政客の宋に對する感覺を卜することを得む宋の勢力東上前とは雲泥の差

▲完用　內閣も當分無事也とは先以てれ目出度し統監歸來の政策も略ぼ山が見へたり

▲暴徒　も其儘韓內閣も其儘兵にはや困つたものだ暴徒鎮定丈は無理にも遣らせたい

▲統監　東上の期も遠らぬと聞く其儘政策なら居るも居らぬも大なる差はあるまいよ

▲南米　巴西に八百の家族的移住者渡航す霞ヶ關の南米々々の說も漸くに端緒開けり

▲移住　の一人鬼に角に咲かして見せむ山櫻とぬたくる意氣可愛之憐に大和民族の聲

▲國民　此元氣ありてこそ帝國主義の發展期せらる當局政策を誤て阻害せずんば幸也

▲法務　院の判決公明正大司法權の獨立確乎として動かず在留民は慥に心强く思ふ也

▲統監　は政治家にして宮中官吏たる多くの資格を持つさ萬朝子論ず全く左樣でムる

▲此資　格ある爲に往々之に偏するの傾き見へ却て大体の方針を誤るに至るは歎はし

▲公使　林權助轉任の噂によりて廣東のボイコット鄙らむ形勢なり權助長居は無益也

▲林の　外交擒なる計りでもない本省の方針惡い爲に公使の立場を滅茶にする氣毒也

▲桂派　益々大同俱樂部を提げて表面に現る大同派撰擧區地盤堅からず困難察すべし

▲大浦　兼武京都に於て大同派應援として陣頭に出現せりと甚好奕影武者は甚卑怯也

▲井上　雅二氏令夫人秀子去月三十日出帆のミネソタ號にて米國留學の途に就れたり

▲井上　夫人は東京女子大學に教鞭を執られしが大成を期せむが爲に渡米す甚健氣也

▲松島　艦遭難異に惜むべし艦は財を以て造り得べし八代艦長以下の將士亦歸らず噫

▲矢代　艦長は我海軍出色の快男兒今や空しく海底の藻屑となる痛惜何ぞ堪へむ可悲

京城電報

## ●侍従武官を派遣

天皇陛下は松島艦沈沒のことを聞召され本日侍從武官日高壯吉を馬公に派遣せらる

## ●死體搜索に就て

昨日馬公よりの電報に曰く今日風波の爲め[illegible]出來ず海岸に[illegible]の死体一個[illegible]見たるのみ

## ●仁川小學校大運動會

仁川小學校にては來る十日頃萬石洞に於て春期大運動會を擧行する豫定なりといふ

●太神宮神輿御渡式に奉戴すべき神輿は一昨夜到着せり

## ●度支部統計課移轉

度支部大臣官房統計課は該部移轉後本廳樓上を以て事務室に[illegible]回元宮內府內藏院廳舍（現度支部上小丘）に移轉せり

公人私人

△齋藤季次郞（陸軍步兵大佐）　巴城館へ
△[illegible]ゴン（露國人）　同上
△[illegible]（仁川財務官補）　三日月旅館へ
△川上繁治（手形組合理事）　同上
△橫山藤太郎（京畿道主事）　巴城館へ

## 京城電報

▲侍従武官を派遣せらる

天皇陛下は松島艦沈沒のことを聞召され本日侍従武官日置謙吉を馬公に派遣せらる▼

▲死體捜索に就て

昨日馬公よりの電報に曰く今日風波の爲め出來ず海岸にて死体一個を發見せしのみ

●仁川小學校大運動會 仁川小學校にては來る十日頃萬石洞に於て春期大運動會を擧行する豫定なりといふ

●[illegible]京都へ注文中の仁川太神宮神輿御渡式に奉戴すべき神輿は一昨夜到着せり

●度支部統計課移轉 度支部大臣官房統計課は該部本館樓上を以て事務室に充てしが[illegible]今回元宮内府内藏院廳舍(現度支部上小丘)に移轉せり

### 公人私人

△齋藤季次郎(陸軍歩兵大佐) 巴城館へ
△[illegible]ルゴン(露國人) 同上
△[illegible](仁川財務官補) 三日月旅館へ
△川上繁治(平壤手形組合理事) 同上
△横山藤太郎(京釜鐵道主事) 巴城館へ

## 予の見たる商店

### 本荘酒店

角帶小僧

店主咲花女史

仁川に酒店は多いが婦人の手に經營されてあるのは一鶴事本荘商店一つであらう、本荘の店主咲代女史は未亡人である、日露戰爭の前謀然渡仁して初めは他家に雜業をなすべく使はれた事もあつたが性來男優りの健氣な根性は他人の使用人で我慢が出來る筈がない、幾何もなく獨立してさゝやかな酒の小賣店を初め女ながらも裾をかいくつて尻切れ草履のすた/\と得意廻りをやつた、かくて半年も辛苦した結果は果然苦勞の花が咲いて得意も大分殖ね小僧の一人も置く樣になつたので漸く國元の親族より一鶴の直輸入をなし漸次手を擴げつゝある内日露戰爭開始さるゝや商業頓に擴張して從來の小賣專門は卸賣となり京城支店の開設に次いで平壤其他二三ヶ所にも支店を設け今や數萬の富をなしたのである、咲代女史は實に稀れなる女傑であると共に婦人としての性格は稍男性式に組織されて居るかも知れぬがこは即ち女史の成功した以所であらう、世の三貧男が兎角の批評を女史に加ふるものがあつたならばそは許するものが無いので恐らく女史の如く堅忍不拔な精神を持つて居るものが有髯の男子中果して幾人かある、予は俺迄女史に對して女傑の稱を呈するに辭せぬものである(此次は何處)

●電話線を切る

大和町二丁目なる曾根副統監邸前に架設せし電話線を一昨夜切斷したる者あり加害者の何者なるかは未だ不明なるも其の處爲は小兒の惡戯にては爲し能はざる所にして相當の器具を用うるにあらざれば切斷し難きものなれば酔漢の所爲にもあらざるべく然れば暴徒一味の者の所爲にはあらずやといふ者あり其の筋にても嚴重探偵中なるべければ事實は不日判明することとなるべし

●男裝の韓少女(下)

△大韓教會の生徒 △大害を善くす

豫ねての宿志を遂して大韓教會に通學するに至つた黄中玉父子の喜びは一方ならぬ者であつた其の後今日に至るまで此の可憐なる韓少女は熱心に通學して殿師始めの想切なる教育を受けて居る而して其の成績は極めて好いとの事である特に韓人には不向きな數字なども他の男生に劣らぬ相である、記者は殿開數使から此の少女の揮毫した大字を見せて貰つたが成程立派なもの、見事に其の体を備へて居る、毛筆書も亦た一寸器用に書くがこれは大字に比較すると稍劣る、併し然るべき教師に就いて勉強したならば大成するであらう、更に角韓國の少女として異つて居ると云ふ可きだ、聞けば近來は日本語も大分巧みになつて一寸した談話は出來る樣になつたとの事、此少女に一の滑稽談があるが、それは此の少年が大韓教會に通學する樣になつて間の無い今年一月元旦の夕暮れのこと殿氏が廻禮の歸途「先生」と優しく聲を掛けた者がある、誰れかと顧つて見ると黄中玉が其の爺さんと二人で立つて居るヤアと、愛嬌よく挨拶をすると黄中玉は少し羞かみて「た早う」と覺束なき舌でもつて夕暮れにた早うとは間違つて居る、殿氏は夕暮れの挨拶に「た早う」を使はぬことを云ひ聞かすると、中玉は稍暫らく首を傾けて居つたが「れ日出度う」と云ひ直した相だ、何處迄も無邪氣な小女ではある倦まず撓まず勉學して意何地ない韓國女流の模範となれかし

●仁川横田雜貨店主の行衛

昨年六月より行衛不明

去る一日付公園地生と稱するものより左の如き投書を寄せられたれば原文のまゝ記載する事とせり尚本投書によりて見るに本事實の裏面には何か秘密の伏在するものあるが如きを以て精探の上再報せん

仁川公園地通に元米田呉服店前の横山雜貨店は廻漕業高杉昇氏の親族に當れる横山某の經營する所なるが昨年三月の大火に逢ひて品物の半分程を毀損し其後又大阪より約三千圓計りの物品を仕入れて相變らず盛大に開店し仁川にても重なる雜貨店として數へらるゝに至りたるが右主人は大阪五百井長とは切つても切れぬ緣戚にありて巨萬の資本を有するものなるが同人には二人の兒迄ありしも或事情により女房を離緣したるが其後獨り身にて前記の所に店員と共に營業し居たるものなり然るに昨年六月頃或日散歩に出ると稱してフイと家を出でしまゝ歸り來らず依つて店員は心配して所々搜索したるも見當らず福島組人夫を雇入れて若しも海岸に身を投じたるものにあらずやと海岸一帶を探せしも之れ又行衛を確むるを得ず遂に今日迄其所在判明せず生死の程も不明なる有樣なりと、依て同店にては早速死亡せるものとして俺迄之れを秘密にし内々佛事を營み居たるが近所の噂にて聞けば同人は一人の兄ありて大阪本家の財產十餘萬圓を兄に讓り渡し自分には僅か二三萬圓の分配をなしたる親の不公平を憤慨し居りし樣なれば之れ等を苦にして自殺を企てたるものにあらざるやとの噂なるが何れにしても不思議の事といふべし右の事實を公平なる御社の手によりて其秘密を精探さるれば或は意外なる事實を發見するを得べし

●偽刑事は木綿商

去る三日の夜十時頃永樂町一丁目の飲食店飯田トミ方へ口髯を蓄へたる一人の男入り來り鷹揚に座敷に通り十二時頃迄に七十餘錢の飲食をなし其まゝ立去らんとするより勘定の請求を爲すと自分は理事廳の刑事なるぞ人を見て物を言へと威嚇し飲代を踏み倒さんとするも飲食店を營むほどの者何とて其の手に乘るべき然らば御願ひいたしたき事あると欺きて引き留め置き急ぎ其の由巡査派出所へ其の旨屆出たるより細谷巡査部長が出張して取調べに及ぶと今度は北署刑事山川信之といへる者なりと答辨し貴官の名刺を頂戴いたしたしと與面目に請求し細谷部長も或は真に刑事ならんかとも思ひしが飲逃を企てしことの不審さに一應明治町巡査派出所に連れ歸り刑事たるの證據品を所持せりやと問へば今は只今携帶せざるも刑事には相違なしと頑張り平然と構え居りしが其の擧動の如何にも怪しき點あるより嚴重の取調べに及ぶと實は大和町三丁目の木綿行商兵庫縣人山川信之(三十)なる者なりと白狀せしが斯る圖太き者は稀に見る所なりと飯田の女將が呆れ居れりと左もありぬべし

●夫の飲代を女房が談判

宮城縣東臼井郡東郷村の者にて當地櫻井町に井戸堀を業とせる大塚榮造(三十)は去る三日の夜一杯機嫌で散歩の途次藤原組の土方某といへるに出會し飲み直さんかとの勸誘に賛成して永樂町二丁目の末廣亭に繰込んで三圓ばかりの散財を爲したるが勘定の一段になつて某は所持金なしといひ榮造も持ち合せなしとて女將の平岩スイと酌婦一名を馬に連れ南大門通より米倉町に歸る途中某が逃走したるより榮造が何故彼を逃せしか金は彼が支拂ふ筈なり自分は宅に歸つても一文もなしとの苦情を唱へ出せしより然らば警察へ同行せんと引き立てゝ其の說諭を受け榮造も今は逃るゝに道なく本日迄に支拂ふ豫定にて引き退がり昨日は榮造の女房が飯田方に至りて日延の談判を爲し居たるが如何に落着せしやら

●酌婦の强談判

花散る里に名のみは相應はしき青葉亭と云へば粹を外見の通人達先刻御承知のことゝなるべしと思ひの外之れはまだ本町七丁目は極めて場末の小料理屋何れは飲食店取締規則の範圍に入るべき淫賣屋の由なれば貴重なる紙面に書くがなの事は無けれど去る物好きより折角の投書强ち沒書として反古籠の中に捨つるにも忍びざれば爰に投書の大略を書き記さんに此の青葉の亭主と云ふは越前守膝右衛門とて今年三十幾歳の分別盛りにも似も遣らず日頃左迄賢こき素振りも見せず朝鮮三界まで渡り來るにも何かの都合ありての事ならんが扱て此の男如何に脳天の赤袋に智慧の汁が少ないと云へ有ろう事か昨年迄連添ひ何かに相談もし慰さめもしたる義理ある女房を突き放し其の後は其所此處の小料理に多少は同じ仲間として顔の利く處より無理な馳走の注文も命じて獨りよがりの色男を氣取り居りしが世の中の不景氣につき左樣は膝右衛門の手許が許さぬものから此處は一番經濟的と奇妙な處に感ずつて已の家に雇ひある酌婦にコツソリ隙りて見ると此方は無論異存は無く亭主さん嫌ですよとは唯口の先き其の實胸に深い謀計を蓄ねて膝右衛門の言ふが儘になりしが一度斯かる手輕き味を覺ねたる膝右衛門は例の助平根性禁じ得ず遂に甲より乙に乙より丙と次ぎから次ぎと自家の酌婦に關係をつけたるも揃ふて三人が亭主の前にのさばり出で此方は豫て申合せたる事故遂ひ此の程我等三人の借金に捧を引きて與れるか但しは三人共に女房にして與れるかと三つの口より二つに一つの返答を催されたるより這かの膝右衛門鳴呼困つた我が飼犬に嚙まるとは此の事かと悔しがり今更乍ら先の女房を追い出したる無分別を熟々身に感ずれども先づ今より三人の者に何とか方法を講ぜざればと目下左思右考顔の色の青くなる程思案に暮れ居れりとはこれこそ身から出た錆とも云ふならんが傍ても氣の毒と察する者もあらぬかし

●道路妨害の科料

日の出町の岩永茂市(三十)は去る一日旭町一丁目の街路に其筋の許を得ずして工事用の石材を置きたる廉により科料金五十錢に處せられたり

●掏摸に罹る

北海道生れ當時草洞笠井町居住土木受負業大島新作(三十)と云ふは一昨日龍山よりの歸途七八十圓入りの懐中を何者にかして遣られたるに心附かず自宅に歸着いて見れば財布の影も形も無いので周章てゝ警察に屆け出でたり

●京城樂友會

一昨三日開會の筈なりし第五回京城樂友會は山階宮菊麿王殿下御薨去に付哀悼の意を表する爲め延期し明六日夜歌舞伎座に於て開催することゝなりたり

●自働人形興行

東京淺草花屋敷に於て興行し好評を博したる市川丈吉の美術自働人形は今回西小門通りに於て開演することゝなり目下開演し居れるが釜山及び大邱にても非常な人氣を得たるが當地にても毎日好況を呈し居れり

●新發見藥ヨヒンビン

晩近人文の進化に從ひ社會の人事百般繁劇を告ると共に世に神經衰弱症及陰萎症に係る患者頗る劇發せるに拘らず我醫界に於ては未だ適當の特効藥なく從來只だ姑息的なる對症療法を應用するに止まりしが夙に獨逸國伯林大學教授醫學博士スピーゲル氏は多年此の療法に關し研究せし結果驚く可き特効新藥ヨヒンビンを發見せり、本劑は實に前記二症に對しては回天の特効を有し百發百中眞に救世的新藥なるを以て今回東京市神田區五軒町拾九番地日新館藥房に於て我國一手特約販賣をなすに至りしが該患者の爲めには再生的福音なるを以て需用者頗る夥しく毎月の販賣高七千瓶以上に及ぶと云ふ

廣告

廣告

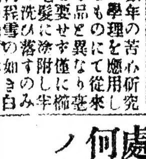
來ル六日午前十一時和城臺公園ニ於テ例年ノ通リ招魂祭執行相成度此段廣告ス

明治四十一年五月四日

京城居留民團 民長 熊谷賴太郎

訴訟、鑑定、契約起案、諸願屆、登記書類代書、土地家屋賣買、金錢貸借、電話賣買等の周旋

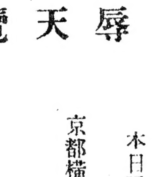
京城本町一丁目警察署前 法學士 小川勝平事務所 電話四十一番



白髮染毛速直黒染

本劑は數年の苦心研究と最新の學理を應用し發明せしものにて從來有觸たる品と異なり手數を要せず僅に一刷毛を以て毛髮に塗附し半日を經て洗ひ落すのみにて如何程雪の如き白髮も棕櫚毛の如き赤毛も縮毛癖毛も房々と伸び石鹼卵洗粉等にて洗ふも決して脫色せず忽ち美麗漆黒色となり數ケ月を經るも變色の憂ひ更になく而も色澤を汚染する事なき不思議の効力を有す故に世の白髮赤毛は勿論縮毛癖毛の方は速に本劑を用ひ其驚くべき奇効の實驗あらんことを望む

價は婦人用一圓六十五錢 男子用九十五錢なり



專賣 東京神田五軒町十九番 日新館藥房

五月一日●第二巻第三號●發賣

月刊 朝鮮

(口繪) 現皇帝皇居昌德宮敦化門、明治二十六年に於ける京城日本人居留地全景、統監邸に於て紀念撮影

(時事評論) 伊藤統監の歸任、一進會の前途、韓內地に於ける居留地狀態、韓國の現內閣、拓殖會社の設立、各教會の振興、漢城雜俎

(論說)
日韓合併の理由
如何に韓人を教育すべき乎
韓國の師範教育
韓國博物館設立に就て
大韓毎日申報の害毒
敢て日本人諸君に告ぐ
韓國金融機關問題
朝鮮に於ける日本人
罵倒錄(漢城人物評論)
李竣鎔の歸國
(雜纂)
英人の見たる韓國
韓國婦人の研究

師範學校 學監 義和宮顧問 警視廳錄譯官 帝國新聞社長 朝鮮タイムス主筆 漢城病院婦人科長

東西南北生 市井散人 增戶鶴吉 佐藤寬 古河松之助 鄭雲復 山下南海 釋尾旭邦 ヒマラヤ山人 菊地長風 橋本林松 工藤武城

朝鮮開國始末 エスケー生
高麗の花 鮎貝房之進
慕夏堂小傳 大阪毎日新聞特派員 楢崎桂園
韓國教育の沿革 韓國總理大臣秘書官 上郡正己
青邱夜談 松尾目池
朝鮮の歌謠 甘笑子
朝鮮の宗教 釋尾旭邦

(訪問錄) 總理大臣李完用、趙法部大臣左夫人光岡竹子孃、主税局長鈴木穆、地方巡視より歸りたる三浦理事官、義和宮殿下顧問佐藤寬

(文藝)
韓國皇后陛下の日語學習 翠香 高濱長江
愛の心 駒のあがきに 椎の一本、オントル會例會

(重要記事) 三南地方暴徒の影響、其他數題

(統監府公文)

第一卷第三號 一冊金二十錢郵税一錢五厘 六冊前金一圓二十錢郵税共 十二冊前金二圓卅錢郵税共 前金に非ざれば送本せず。

京城本町二丁目 電話一四五 振替口座九〇五九九番 日韓書房

捌所 大阪盛文堂、岡田、平田、龍山竹內其他 韓內地、日本至る處にあり

辱天覽

本日限り日延なし

京都横田商會 活動大寫眞

毎日午後六時より開場

仁川 歌舞伎座

●●美術參考●●

美術自動人形

東京淺草花屋敷ニ於テ興行中の處今般有志の御招キニヨリ渡韓 京城西小門通(京城新報社横)ニ於テ毎日午前十時ヨリ開場(晝夜共)大人拾錢 小兒五錢

●●社會教育●●

鍼灸術開業

昨年中龍山榮町龍山座前ニ於テ營業ヲ始メ御引立ニ預リ候處今般京城御得意樣ノ御招キニ應ジ左記ノ處ニ於テ開業致候間何卒舊ニ倍シ御引立ノ程只管奉懇願候

京城大和町二丁目(義和宮殿前) 鍼灸術 中島惠愛堂

高等理髮館 京城相生町南門湯前 秀床

陰萎特効新劑(獨逸新輸入藥)

◎內服 ヨヒンビン

拾錠入壹劑 藥價共壹圓 送料九拾錢郵券貳割增

本劑は獨逸國伯林大學教授スピーゲル氏の發見に係る男女生殖機不能即ち陰萎病(陽物無力)腎虛神經衰弱可驚 元氣衰弱、老衰無力生殖虛弱手淫に起因する諸症早老者に天下無比 遺精、夢精、早漏、過房、生殖器を强健ならしめ人生の最大快樂を得んと望む者は早く試よ破烈偉大に奇効發見せる最新藥也 勃興精力增進 電光の如し 世にあふれたる賣藥と同一視することなかれ本劑の効は高名なる醫師に就て承合せば明白なり

專賣 東京神田五軒町十九番 日新館藥房

●仁川開港二十五年紀念●

實業同盟會景品付大賣出し

五月一日ヨリ十七日迄

福引抽籤ハ五月十九日トス

# 景品目錄

一金一千圓 一本

一金一百圓 一本

一金五十圓 一本

一金五圓 五十本

一金二圓以下 八萬本

商品御買上金高五十錢毎ニ福引券壹枚ツヽ御進呈申升

特ニ東京下駄大割引大安賣仕候

實業同盟會商店

仁川一等大安賣

最新流行 特別裁縫 夏服新荷着

高等出來合洋服は卸小賣共特別廉價を以て御相談に應可申候

京城明治町一丁目

東京塚原支店 原雄吉

石拔 磨擦 精米

米國最新式磨擦機械ヲ用ヒ手撰石拔ニ最モ注意ス

迅速確實

京城西部東幕（麻浦度支部煉化工場右手）

價格低廉

特別廉價ヲ以テ多少ニ係ハラズ迅速賃搗キノ依賴ニ應ズ

順昌精米所 所主 林炳壽

廣告

本會の經費に充つる爲め左記の方法に依り大方有志各位の寄附金を募集候間御賛成の上奮て御寄金被下度希望仕候

一寄附金募集期間は本月二十三日より五月十日迄とす

一寄附一口金五圓とし一口に對し餘興として大福引繪葉書（福引番號は繪葉書の封皮に記載せり）一組（五枚）を送呈す

但し五圓以下と雖も之を受け前記便宜一圓に付一枚を贈呈す

一大福引付繪葉書は寄附金受領と同時に本會々印及會長印押捺し受領證に添へ之を贈呈す

一福引景品總額を一万五千圓とし各等に割當之を贈呈す（一本も空籤なし）

一福引抽籤は來る五月十八日を以て之を執行す

明治四十一年四月

仁川開港二十五年紀念會

（懸直なしのまからすや）（御爲筋仕入品）

夏物の新着

尾州しま 一圓九十錢乃至三圓
同上布 三圓九十錢
久留米縞 一圓半乃至二圓卅錢
同かすり 二圓五十錢乃至二圓九圓
阿波しま 一圓乃至一圓八十錢
伊豫絣
縮緬子 二圓乃至三圓三十錢
格子モスル
白更紗
新柄珍品

英子ル 二圓三十錢乃至五圓四十錢
セル 八圓九圓八十錢乃至
アルパカ 三圓五拾錢乃至四圓十五錢
縞モス 三圓三圓七十錢

以上は和服用一反分の見積に候

御小賣共前金の外は代金引換郵便小包郵便に由り發送の儀と御承知相成度候

京城本町三丁目 和洋 丸一反物店 電話六三五番

（御徳用大安物）（貸賣せすの卽金取引店）

西洋洗濯並ニ洗張開業御披露

今回内地より熟練の職工數名伴ひ參り左記の場所に於て開業仕候間多少に不拘御用命仰付被下度只管奉願上候 當所は老人亭谷川筋に地をトし完全なる工場を設置し井戸を開鑿致候處多量に湧出水質善良加ふるに原料を精撰致技術は親切叮嚀を旨とし日限は努めて迅速に可致候尚各種の洗張物御用も承り申候

五月一日

京城大和町三丁目（統監府官舍東裏）

加 西洋洗濯所 所主 柄澤行眞

夏物全部荷着

一帽子 洋傘 麻毛メリヤス膝掛

一大和屋新柄縞シャツ、子クタイ 麻絹杳下

一金銀新形、釦、香水、化粧品其他

右荷着精々勉強廉價販賣仕候間多少ニ不拘御用命被下度奉希候

日韓諸官衙御用達大和屋シャツ特約販賣滑毒藥クレンン一手販賣

京城本町二丁目（電話三一一番）

四ケ所洋物店

◎石材販賣

堅牢美觀最も能く建築工事用の目的に適當せる石材産出地として著名なる北署水基洞より玉川洞に亘る數千坪の採石場は今回農商工部大臣の特許を得て向ふ五ケ年間弊店に於て採掘に從事候間何程多數且つ長大なる切石の御注文にても迅速廉價を以て販賣仕可候也

電話（長）二百二十一番

京城旭町三丁目十一番戶 井上久藏

開業御披露

柳は翠り、花は紅む、眞や世は春の彌生の盛かり、得も云はれぬ折柄、御得意樣方の御勸めに依り手輕料理を開業し御客樣方の御望のまにまに應じなん

仁川港仲町一丁目（新月上）

すき燒 御手輕料理 仕出し

やよい 帶刀ツル

電話六一七番

一各種石炭大販賣

大の浦塊炭

豆田塊炭

大辻塊炭

ストーブ用として右三種取寄せ貯炭罷在り御希望に從ひ多少に拘はらず迅速御屆け可申上候

三池粉炭

鍛冶用として貯炭罷在り多少に係はらず御用に應じ可申候

當社一手販賣炭左之通り

三池、田川、伊田、山野、金田、豆田、津波黒、藤棚本洞、大の浦五尺、大の浦三尺、笹原、滿の浦芳雄、大辻、白岩、柚木原、岸嶽等

三井物産合名會社

京城出張所（電話二十六番）

仁川出張所（電話六十三番）

◉蠟引最新式機械應用◉

●●● 統監府 各官衙 購買組 御用達

阪洗濯店

京城南山町三丁目本願寺下

今般最新式機械を購入致し且つ熟練の職人數名を更に聘し極力大勉強仕候間何卒倍舊の御愛顧御用命の程伏而奉希上候 敬白

注意

近頃弊社の名義を用ひ各所に回りて染ものの洗張等の注文を受け取り甚しきに至ては或は日限をおくらし或は誂物の品を返却せざるものさへこれあり注文品に對し弊社の不都合候然に付ては弊社の取扱する注文品は責任を帶て物品の引換券を預り致し御渡し申候品物受授の間違なき樣御渡し居り候に有之候得ば該證券を御渡しさへ致さゞる物品は斷然御渡し無之樣御注意申上候 弊社は定評ある通り御誂の日限を守り物品仕揚げの精巧なると御賞行ありて續々御注文願上候 拜具

京城南山町二丁目伊藤組横通

日韓染物合資會社 電話（百五十四番）

今般會員を增加し懇切叮嚀を旨として自宅病院外勤看護の依賴に應じ申すべく候

京城南山町（日本人倶樂部前）

漢城外勤看護婦會 電話九五一番

開業廣告

▲内科 ▲外科 ▲婦人科 ▲眼科 ▲小兒科 ▲産科 ▲花柳病科

●午前宅診 午後往診

小生帝國醫科大學に多年研究中の處今般左記の處へ開業致し一般患者諸氏の診察に從事す

京城本町六丁目共立病院 院主 醫學士 山中彌太郎

金頼屆、登記書類の代書、土地家屋賣買、諸錢貸借の周旋、漢城證明手續、土地家屋及未開墾地測量

旭町一丁目民役所横 岡田幾三郎 取次電話二六八番

京城本町一丁目八十四番戶（電話六四二番）

日本法律學士 岩本英雄法律事務所

仁川港新町一丁目九十七番戶（電話五二七番）

●精白米卸小賣●

石拔 一升ニ付 十七錢 十六錢五厘

白米 十六錢

一斗以上市内には出米速達 俵賣は特別御相談仕り候

京城旭町一丁目 前田精米所

月 日

各位樣

日本澤庵 味噌醬油製造 乾物荒物鑵詰 銘茶食料雜貨

京城本町五丁目

漬物問屋 大上商店（電話二五一番）

●大阪豆腐●

大阪滋養大豆ソップ

右は一合三錢にて朝夕配達仕候間御入用の御方ははがきにて御一報被下度候

豆腐木のめでんがく

右は一人前十三錢にて仕出し可仕候

京城旭町壹丁目

中瀨商店

●木のめ田樂●

氷大販賣

五月一日ヨリ氷庫開扉卸シ販賣致候間多少ニ不拘御注文被下度迅速配達可仕候

並ニ夏蜜柑卸販賣

但産地より直輸入

京城曙町五六（明治湯前）

森田商店

日本郵船株式會社 仁川出帆廣告 電話十番

仁川海岸通 郡回漕會 電話三九番

貨物及船客取扱店

京城南大門通 巴商店 電話三〇六番

●釜山長崎門司神戸行 山東丸 五月十日 後三時出

●群山、木浦、釜山、門司、神戸、大阪行 第一オハヨ號 五月一日 後三時出 釧路丸 月 日 後三時出

●大連、大沽、牛莊行 高砂丸 五月十四日 後一時出 山東丸 五月廿六日 前五時出

●大連、大沽、牛莊行 酒田丸 五月廿八日 後一時出

●鎭南浦行 第一オハヨー號

●釜山出帆、元山清津、浦鹽行 弘前丸 五月廿日 後三時出

御注意 御乘船ノ際ハ税關波止場ヨリ本船迄送迎船ニテ御送リ可申候送迎船ハ本船出帆ノ約五十分前ニ船解纜ノ